

トレーニングハンドについての Q & A

Q1	木製のトレーニングハンドを使用しても問題無いですか？
A	使用不可です。
Q2	プレプライマーとプライマーは塗布する必要がありますか？
A	どちらでもよいです。ただし、持参した場合は品名ラベルを貼付してください。
Q3	施術していないトレーニングハンドをアームレストに置いていないと減点ですか？
A	アームレストに置いていなくても問題ありません。明らかに衛生管理の配慮が無い直置きをした場合は失格です。
Q4	「トレーニングハンドの扱いは人の手と同様に丁寧に扱うこと」とはどの程度なのでしょう？
A	明らかに人の手の動きとして出来ない状態で固定し、施術した場合は減点ですが、持ち上げたり、裏返したりするのは問題ありません。
Q5	左手用のトレーニングハンドを右手用として使用する場合、指の指定はどうなるのでしょうか？
A	指の指定は変わらないので、左手用を右手用として使用する場合、指定された指に施術してください。
Q6	左右でサイズが違うトレーニングハンドを使用した場合、減点になるのでしょうか？
A	全体の仕上がりが統一されていれば、左右サイズが違うトレーニングハンドでも問題ありません。
Q7	ハンドの手の平が厚いためライトに入れる際、接触してしまいます。ライトの高さを上げてもよいですか？
A	ライトを台の上に置いても問題ありません。ライトを持ち上げて、トレーニングハンドに当てても問題ありません。
Q8	トレーニングハンドを入れるライトの向きは受験生側でもよいですか？
A	ライトの向きに制限はありませんので、受験生側から入れて問題ありません。
Q9	トレーニングハンドを落とした場合、どうすればよいですか？
A	他の用具と同様、試験官に手を挙げて連絡し、自分で拾い、手指及び用具消毒を行った後、「消毒しました」と挙手して申告してください。
Q10	チップが取れてしまった時用にアクリル、ジェル、グルー、アクティベーターや両面テープを持ち込んでもよいですか？
A	構いません。試験中であれば外れたチップを付け直すことは問題ありません。ジェルに関しては指定商品であること。なお、持ち込む用材の容器にはラベルを貼って、セッティングしてください。
Q11	底に反射板のないライトを机に直に置き、トレーニングハンドを入れて使用した場合、減点になりますか？
A	要項 P11「○衛生面における配慮」の「※ライトの底に反射板がない場合、手が直接机に触れないようライトの下にタオルやペーパータオルを敷くこと。」「※トレーニングハンドを直置きしないこと。」の項目を満たせていないため、減点となります。
Q12	底に反射板のあるライトを机に直に置き、トレーニングハンドを入れた際、手首部分が反射板をはみ出て机に触れた場合、減点になりますか？
A	指先の部分がはみ出ていなければ減点になりません。